

総評

英語がたいへん難しく、その他の教科も全体的にやや難しく、5教科合計の平均点も低くなりました。

道コンなどの模擬試験は、実際の入試と同様、広い範囲から網羅的に出題される特徴があります。模試でのミスは、以前に学習した内容のうちどれが定着していないかを知る手がかりになります。間違えた問いの一つ一つについて、「なぜ間違えたのか」を考え、解き直しをすることで、知識が整理され、確実なものになります。

入試など実際に問題を解く場面において、知識をどのように活用するのか、という、「活用する力」をつけるには、実は「慣れ」は大きな要素です。入試に向けて単元ごとに基礎的な知識を整理する勉強を日々行いながら、実戦的な問題にも取り組むことで、使える「解法」や「考え方」のパターンを増やしていきましょう。

国語

難しい出題でした。

㊦の漢字の書きは、「承認」が難しかったようです。「承」を「証」としている人が多かったです。㊧は、全体的によくできていました。㊨は、問四の得点率が低くなりました。白紙の回答が多かったため、解答をどのような形式で書けばよいか悩んだ人が多かったと考えられます。様々なパターンの記述問題に触れておくといでしょう。㊩は、問六の得点率が低くなりました。「段落の役割」は、説明的文章ではよく問われる問題の一つです。段落ごとの内容を押さえながら読み進める力を身に付けましょう。㊪は、問四の得点率がとても低くなりました。入試でも、最後に長めの記述問題が出題される可能性が高いです。前もって問題全体を確認し、時間配分を決めておくなどの工夫をすることが大切です。

数学

やや難しい出題となりました。

㊫は文字式・方程式からの出題でした。近年の入試でも出題頻度が高い単元ですが、比較的良好に解答できていました。㊬は2乗に比例する関数の出題でした。問3のような問題では、座標を用いて線分の長さや面積を表すことに慣れるのはもちろん、立式・計算でケアレスミスをしたくないことも非常に重要です。改めて解説を見返した上で、本問の解法や計算手順について理解を深めてください。㊭問3では「二等辺三角形であることの証明」を出題しました。証明問題の入試対策では三角形の合同や、今後学習する相似に目が向きがちですが、こちらも必ず出来るようにしたい問題です。㊮問2(2)は最終問のため、時間配分も含めて解けなかった人も多いと思いますが、解説を参考に時間をかけて解き直しましょう。

社会

ほぼ標準的な難易度の出題でした。

地理分野は、㊯問1(4)の気候の問題、㊰問3の表の判別問題で特に得点率が低くなりました。気候については、各気候の名称と雨温図の特徴を合わせておさえておきましょう。歴史分野では、㊱問3(2)の「座」を「惣」や「株仲間」、㊲問1の「大宝律令」を「御成敗式目」などと書いた答案が目立ちました。歴史が苦手な人は、法令や産業などを時代ごとに整理しておきましょう。また、㊳問6の記述問題では、問われていないことを書いたものも多かったため、記述問題では何を問われているのかをよく読んで解答するように心がけてください。公民分野は、全体的によくできていました。

今回間違えた問題は必ず解き直しをして、次回以降は同じ間違いをしないようにしましょう。

理科

難しい出題でした。

㊴は基本事項に関する出題が中心でしたが、得点率が高くなったものが少なくなりました。間違えたところや解答するのに悩んだものはしっかりと復習しましょう。㊵は、問3は非常によくできていました。一方、問4(2)③は難しかったようです。㊶は、問3(1)は正答率が高くなりましたが、他は全体的に難しくなりました。問3(2)は満点でなくとも、中間点を得点できた人が多くいました。中間点が入る問題もありますので、一部分でも答案を埋めるようにしましょう。㊷は、問2で苦戦した人が多かったようです。直列回路と並列回路の電流・電圧・抵抗などをもう一度確認してください。㊸問3は、難しくないので、設定などを理解し、思考が必要となる問題でした。

英語

とても難しい出題となりました。

英問英答には、㊹本文にある単語や表現を活用して答える問題と、㊺自分の考えを自由に表現する問題があります。㊹は解答の指示にしたがい、時制や複数形などのミスに注意しましょう。㊺はスペルミスや表現の不備に気をつけながら、正確な英語を使いましょう。

㊻のリスニングは、あらかじめ選択肢に目を通して、「誰が」「いつ」「何を」「何を」などの情報を正確に聞き取りましょう。

㊼の英作文は非常に難しかったようです。(1)や(2)は中学2年生の文法項目です。教科書の巻末には基本本文のページがあります。これまでの学習で苦手な文法項目がある人は、基本本文の英文を和訳したり、和訳を英文にしたりする練習をするとよいでしょう。